

## 景観施策の評価検証のまとめ

(今後の課題・都心部で実現したいイメージ・取組みの整理)

### 1. 評価検証から得られた今後の課題

- 課題1: 都心部では、大規模建築物の整備の際につくられるオープンスペースや緑について、質の高さを誘導する取組みが必要
- 課題2: 街並み景観の質を向上させるには、沿道の建物だけでなく、道路などの公共施設の質を向上させる取組みが必要
- 課題3: 仙台のシンボルロードである定禅寺通、青葉通及び宮城野通の魅力を更に高める取組みが必要
- 課題4: 都心部などで、街並みを人の関わりによって、より魅力的なものとしていく取組みが必要
- 課題5: 屋外広告物は、郊外などで派手な色彩や過度な設置のものもあり、大きさなどの基準以外への取組みが必要
- 課題6: 杜の都景観重要建造物等は、今後どのようなものを保全していくかの検討が必要
- 課題7: 市民等との協働の取組みは、時代に合ったものとするともに、施策の効果を上げるための手法などの見直しが必要

- 都心部は、課題が多く挙げられ、市民アンケートなどでも重視すべきエリアとされていることから、これまでの取組みに加え、**都心部への取組みを強化**していく必要がある。(課題1～課題5)
- これまでの取組みのうち、杜の都景観重要建造物の指定や市民協働の取組みについては検討や見直しの必要がある。(課題6、課題7)

### 2. 都心部で実現したいイメージ

#### 今後まちづくりを進める上で仙台市が重点的に取り組む必要のある視点

仙台を磨き伝える ～世界に輝く杜の都の深化と継承～  
躍動する仙台を創る ～都心再構築と交流都市づくり～

「仙台市総合計画審議会における  
審議経過(令和元年7月)」より抜粋

#### イメージ その1

ケヤキ並木のシンボルロードを中心に、  
通りの美しさが、仙台を訪れる人をひきつけ、  
通りを歩くこと、通りで過ごすことを楽しみ、通りに賑わいが生まれている。



仲通り(東京・丸の内)

※提供: NPO法人  
大丸有エリアマネジメント協会

#### イメージ その2

シンボルロードに、公園、オープンスペース等が有機的につながり、  
市民が暮らしの場として楽しんで過ごしている。

そこに、観光やイベントへの参加など様々な目的で仙台を訪れた人の楽しむ姿が加わり、  
街の賑わいを生んでいる。



### 3. 実現するための取組み

#### 都心部のイメージを実現するための取組み

##### ①街並み景観への取組み ～眺望から街並みへ～

これまでの、市街地中心部において、  
仙台城跡や高層ビルなど高い視点からの眺望が重視されている。  
今後は、眺望に加え、街で過ごす市民や来訪者に、より近く、容易に視野に入る  
街並みの見え方や感じ方を重視した施策にも取り組んでいく。

##### ②都市空間の質の向上の取組み ～人にやさしく、ていねいに～

定禅寺通、宮城野通及び青葉通などの仙台のシンボルとなる景観、  
公園、沿道の建物やオープンスペース等、  
都心の空間の質の向上のために取り組んでいく。